

金融

ライフプランとマネープラン

知っていますか？

人生の3大資金。

人生には3大資金といわれるものがあります。一つ目が「教育資金」、二つ目が「住宅資金」そして三つ目が「老後の資金」です。今年の初夏の金融特集ではその中の一つ「教育資金」を取り上げてみました。

第一弾

「教育資金」を考える！！

大学1年間平均学生生活費は1883万円に

1 具体的な必要額を知る

保育園・幼稚園から大学までの各段階における授業料等については、文部科学省の統計があります。その金額を参考に、子どもにどのような進路を希望するか考えながら、準備する目標金額を決めます。子どもがまだ小さい場合は進路決定は難しいかもしれませんが、多くの親は子どもの将来については、本人の意志を尊重したいと考えています。文部科学省の「学校基本

調査」によると、高校進学率は97.7%、短大・大学などへの進学率は51.2%になっています。中学生くらいになると子どもの希望も少し具体的にたててきますので、ここで再度、資金計画の見直しをしましょう。

別表に「子どもの学習費総額」と「大学生の学生生活費」を掲載していますので、参考にしてください。特にまとまった金額が必要になるのは高校以降です。

2 生活設計と合わせて資金計画を立てる

子どもが独立するまでには、マイホームを購入したり、第二子、第三子の出産など、出費を伴うライフイベントも想定されます。教育費がまとまって支出される時期と重なることもあり、その一方で、まず家族の生活設計(ライフプラン)を立てることが大切です。家計の負担にならないよう、教育資金計画の中で調整を図っていく必要性も出てくるでしょう。

資金計画に必要な不可欠な要素は、目標金額と必要となる時期です。ここで資金計画のポイントを3点ほど挙げてみます。

- ①まとまった金額が必要になるので、後で慌てないよう資金の準備を早目に始める。
 - ②教育費が必要になる時期と金額はある程度は把握できるので、きちんと計画を立てる。
 - ③ライフプランを作成して、長期の視点で調整しながら準備する。
- また、資金計画の手順のポイントを2点挙げてみます。
- ①生活設計上のイベントとの重なり具合を確認する。
 - ②家計を把握し、積み立て可能額を算出する。

教育資金計画のための4つのステップ

教育費と一口にいても、授業料や教材費、通学費のほか、家庭ごとの考えで通わせる塾や習い事など内訳はさまざまです。ここではどうしても学校に納めなければならない教育費について見ていきます。教育資金計画には4つの段階があります。

3 早目に準備を始める

教育費がかさむのは一般に高校・大学等へ進学するときです。その時になって慌てないように、早目に少しずつ貯めていくのがコツです。ライフプランを作成してみると、貯蓄しやすい時期が見つかります。積み立ては長く、継続できる金額で始めることが第一です。例えば子どもが生まれたら、生まれたときから毎月1万円ずつ、2人だったら2万円という具合に。ただしあまり無理をしないように。

4 足りないときの対策を知る

資金計画を立てて実行している中、予想外の支出があったり、子どもの希望する進路によつては準備していた資金では足りない場合があります。夢をあきらめさせる前に、奨学金や教育ローンを利用することも検討してみましょう。

公的な奨学金制度は、高校までは都道府県、それ以降は独立行政法人日本学生支援機構が取り扱っています。ほかに区市町村、大学、民間の財団、企業が支給している奨学金もあります。奨学金の相談窓口は学校にありますが、必要とときはまずは学校に相談しましょう。

また、教育ローンとしては国の教育ローン、民間金融機関の教育ローンなどがあります。奨学金も教育ローンも、いずれ返済するお金です。卒業後、無理なく返済できる範囲で利用することは忘れてはいけません。

●平成22年度 子どもの学習費総額【年間額】(単位:円)

区分	幼稚園		小学校		中学校		高等学校(全日制)	
	公立	私立	公立	私立	公立	私立	公立	私立
学習費総額	231,920	537,518	304,093	1,465,323	459,511	1,278,690	393,461	922,716
うち学校教育費	129,581	358,313	54,929	835,202	131,501	990,398	237,669	685,075
うち学校給食費	18,834	28,078	42,227	46,052	35,448	9,429	—	—
うち学校外活動費	83,505	151,127	206,937	584,069	292,562	278,863	155,795	237,641

(資料:文部科学省調査)

●平成22年度 大学生の学生生活費【昼間部・年間額】(単位:円)

区分	学費	生活費		合計				
		小計	小計					
大学学部 昼間部	授業料、その他の学校納付金	修学費、課外活動費、通学費	食費、住居・光熱費	保健衛生費、娯楽・嗜好費、その他日常費				
	国立	512,500	144,100	656,600	542,500	279,900	822,400	1,479,000
	公立	533,500	140,800	674,300	460,100	271,700	731,800	1,406,100
	私立	1,154,200	162,600	1,316,800	337,500	281,800	619,300	1,936,100
	平均	1,011,600	158,400	1,170,000	379,500	281,000	660,500	1,830,500

(資料:独立行政法人日本学生支援機構調査)

ZENROSAI NEWS

全労済 ぼうさいカフェ

サバイバルメシタキを体験してアンケートに答えた人だけがもらえる全労済オリジナルくまモンバッジ






サバイバルメシタキ 身近にあるものでご飯を炊くサバイバル術です。

ぼうさい頭巾作成の様子

自転車発電機でわたあめを作ります。

避難の姿勢でゴールを目指そう! [キッズぼうさい迷路]

◆近日の出演予定◆

わくわく江津湖フェスタ 6月2日(土) 6月3日(日)

青少年のための科学の祭典 熊本大会 8月18日(土) 8月19日(日)

近日、全労済のHPにて詳細をご報告します!
http://www.zenrosai.coop/zenkoku/kumamoto/kumamoto.php

熊本6031

全労済 熊本県本部

TEL 096-372-0631

熊本市中央区本荘5-10-30

城南支所

TEL 0965-35-4788

八代市大手町1-59-2八代教育会館内

大好評の体験学習型イベント 「ぼうさいカフェ」は僕たちが開催しています!



熊本県本部のスタッフ。左から辻さん、林田さん、自見さん

中村雅俊、向井理のCMでおなじみの全労済は保障を取り扱う生活協同組合です。「手と手を取り合い助け合い」をモットーに命の保障から住宅の保障やマイカーの補償など、暮らしのシーンごとに保障が揃っていることが魅力です。

さらに、東日本大震災を受けた昨年からは全労済熊本県本部は、県民の防災意識を高める活動に力を入れています。「防災」というと難しいと感じますが、全労済熊本県本部の「ぼうさいカフェ」は、ご家族そろって参加されてみてはいかがでしょうか?

部の「ぼうさいカフェ」は、ご家族に好評のイベントです。例えば、人気コンテンツの一つ「サバイバルメシタキ」では、アルミ缶と牛乳パックでご飯を炊くサバイバル術を体験していただきます。普段の生活では炊飯器のスイッチを入れるだけで炊けるご飯ですが、災害でライフラインがストップしたときはどうしたらよいでしょうか?身近にある物をちよつとした工夫を凝らして使うと、ご飯が炊けるという驚きと、感動をサバイバルメシタキで体験してください!今後は、6月2日(土)〜3日(日)には熊本市動物植物園で開かれる「食と健康フェア2012」に、8月18日(土)〜19日(日)にはグランメッセ熊本で開かれる「科学の祭典」に出演。どちらのイベントも入場料・参加料ともに無料です。

全労済熊本県本部